



日立ソリューションズ 竹田 広光社長



コロナ禍で市場環境が大きく変わる中、得意領域の「モバイル」「セキュリティ」「AI・IoT」「働き方改革」の4領域を軸にしたデジタルトランスフォーメーション(DX)の支援を進めてきた。産業、社会、公共など全業種に向けたSI支援と、得意分野を生かしたソリューション対応を実行してきたことで、全体では計画通りに推移していると見ている。

セキュリティ、クラウドなど強化

画に向けた検討も進めていく。日立ソリューションズ

2021年度は中期経営計画の最終年度だが、重点的に取り組んできた領域は一定の成果を出せた。特にセキュリティと働き方改革では強みを

出せている。セキユリティーは、日立製作所グループで連携し得意領域を役割分担し

「AIプラス」を合わせる。ITハッカーも19人に増えつつある。人財育成を含め技術力の底上げを継続していく。働き方改革では、マイクロソフトのチームズをそのまま活用できる「仮想オフィス」の全社展開

22年は次期中期経営計画

してきた。当社はセキュリティ診断やトレーニング、ネットワーク脅威検知の領域で支援。引き合

いも多く、この流れを加速させる。併せて取り組むセキュリティ人財の育成も成果

を始めた。昨年5月から一部の従業員で社内検証し、10月に全社展開を開始。12月下旬には約3400人での運用をスタートした。他社展開も想定

果になり、21年度は800人まで拡大。セキュリティ

の仕組みにAIを組み

業の創出にも取り組んでいく考えだ。

※本記事は、発行元の許可を得て掲載しております。